



# Kit-Build Map Editor and Analyzer User's Guide


KitBuild概念マップEditorとAnalyzerの取扱説明書



はじめに

---

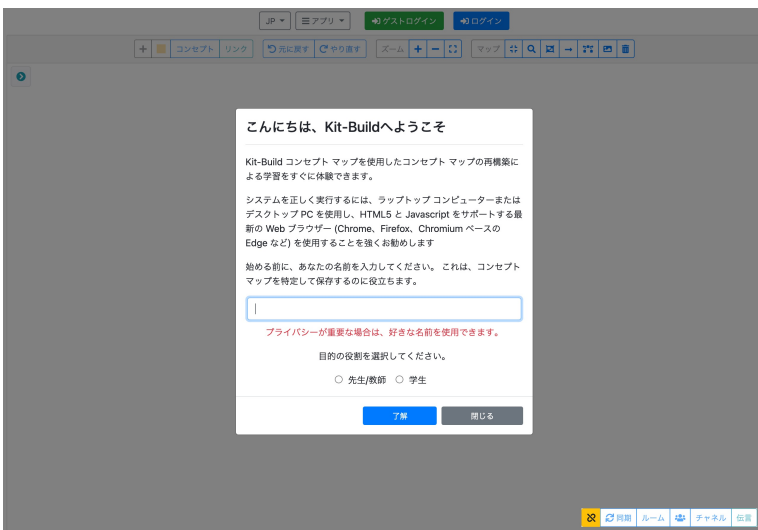
Please select your preferred language.

 English (EN)	 日本語 (JP)
---	---

閉じる

KBシステムは多言語対応です  
はじめに言語を選択ください

# ログイン



学習者用のKBシステムへ  
ログインする方法を  
解説しています。

- 1 言語設定後に提示されるメニューに、  
適当な名前を入力する

始める前に、あなたの名前を入力してください。これは、コンセプトマップを特定して保存するのに役立ちます。

プライバシーが重要な場合は、好きな名前を使用できます。

- 2 「学生」の役割を選択後、  
「了解」を押す

目的の役割を選択してください。

先生/教師  学生

了解

閉じる

- 3 ログインの挨拶が表示  
されればログイン成功です

こんにちは, guest!

Kit-Buildでコンセプトマップの再構成を始めましょう。

了解

- # 再ログインする場合は、  
「ゲストログイン」を  
押してください

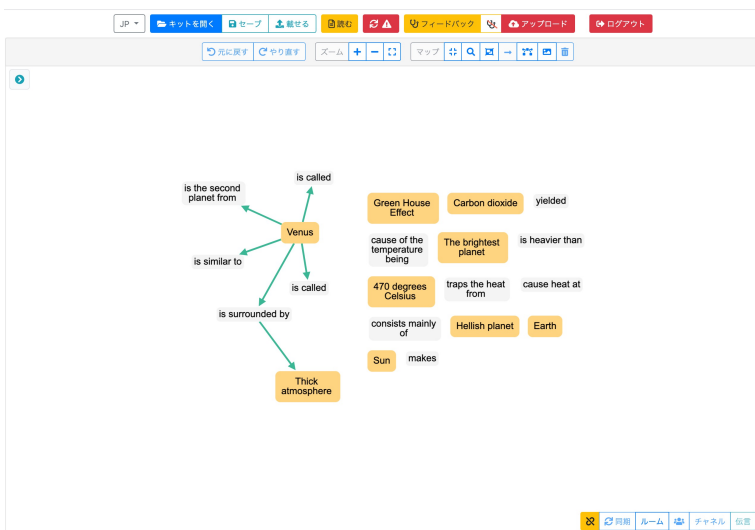
➡ ゲストログイン

やり直す

ズーム

+

# キットのダウンロード

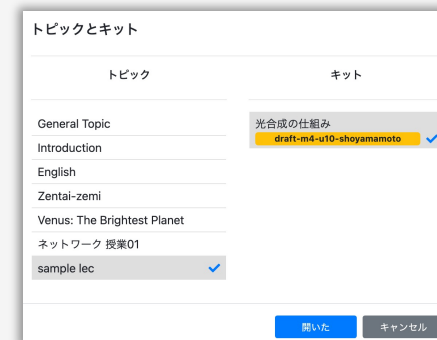


日本語のデモ用のキットをダウンロードしてくる方法です

- 1 画面上部にある「キットを開く」を押す

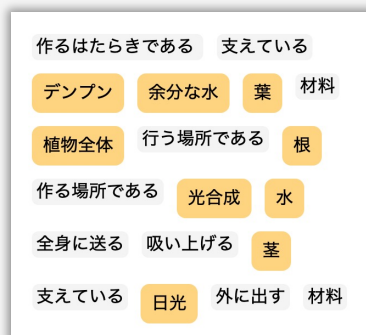


- 2 トピックとマップを選択し、「開いた」を押す



デモでご利用いただけるトピックとマップ

- 3 以下のようなキットが表示されれば成功です



**トピック**  
Sample lec

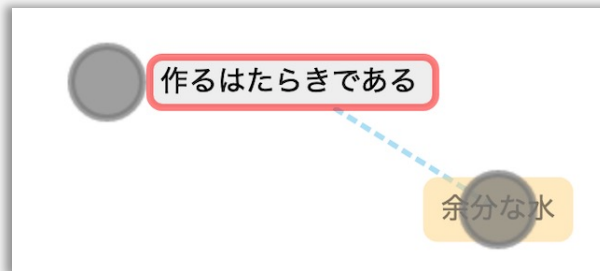
**ゴールマップ/キット**  
光合成の仕組み

# マップの組み立て

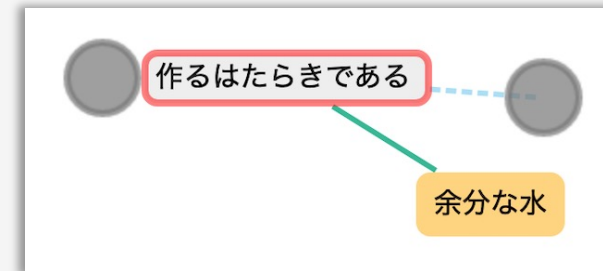


ダウンロードしたマップを組み立て、学習者マップを構築する方法を紹介します

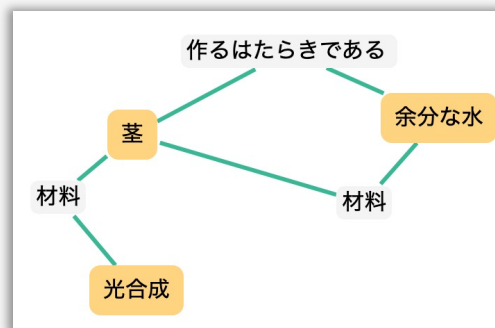
- 1 リンクを選択し、左右の丸をドラッグすると、ノードに繋がります



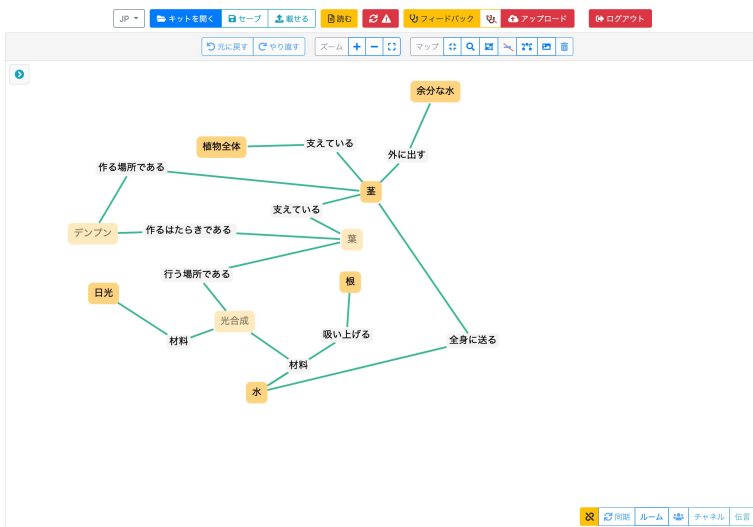
- 2 同様に、リンクを選択し、左右の丸をドラッグすると、ノードから外せます



- 3 1、2を繰り返して、学習者マップを組み立てます

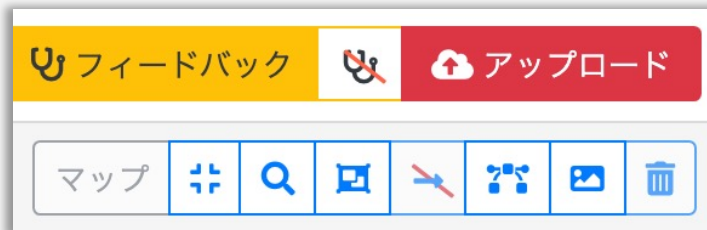


# マップのアップロード



完成したマップをアップロードする方法を紹介します

- 1 画面上部にある「アップロード」を押す



- 2 マップが完成していれば、「はい」を押す

コンセプト マップをアップロードして完成させますか？  
これでキット作成セッションが保存され、ENDされます。

はい

いいえ

- 3 画面右上に下記のようなメッセージが表示されれば成功です

Learnermap saved.

# アップロード後の確認

左端のスイッチを切り替えることで、教師のマップと下記のような差分を確認できます

## 一致するリンク

教師と一致している  
関係性の理解です

## Excessive links

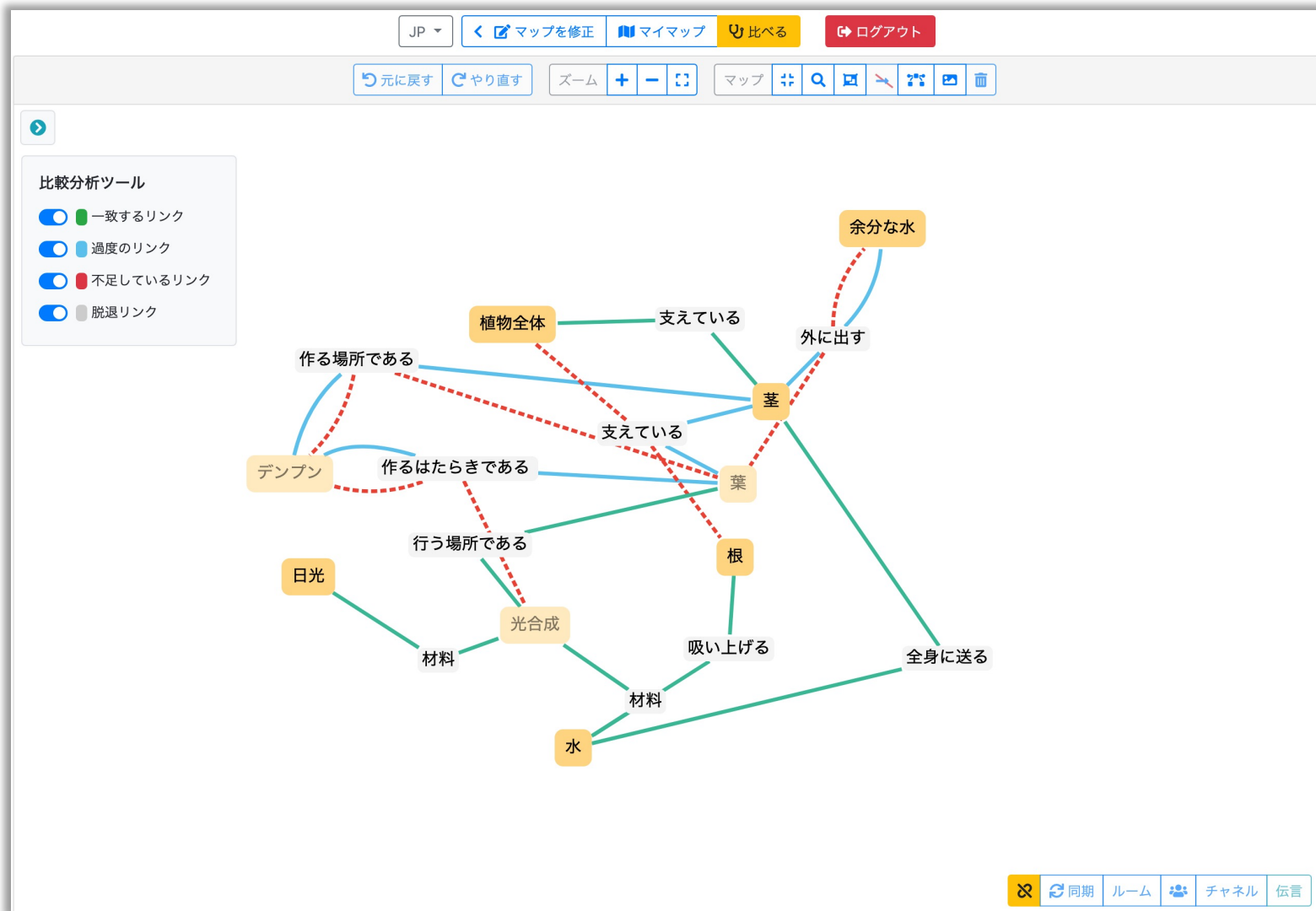
教師は引いていないが、  
学習者は引いていない関係性です

## 不足しているリンク

教師は引いたが、  
学習者は引いていない関係性です

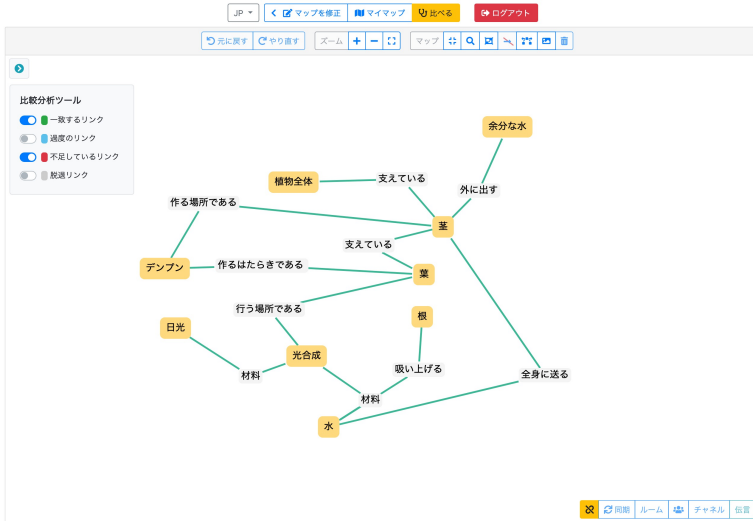
## 脱退リンク

学習者の繋いでいない関係性です





# ログアウト



学習者システムからログアウトする、あるいは教師システムに切り替えるときのログアウトの方法について説明しています

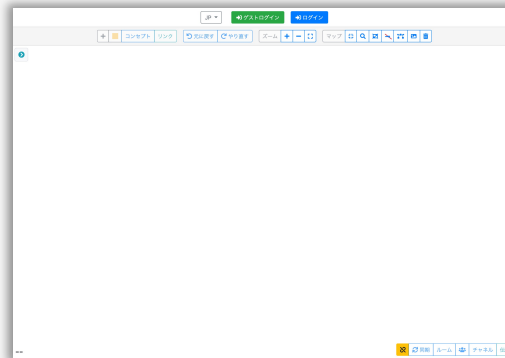
- 1 右上の「ログアウト」を押す



- 2 ログアウトしてよければ、「はい」を押す



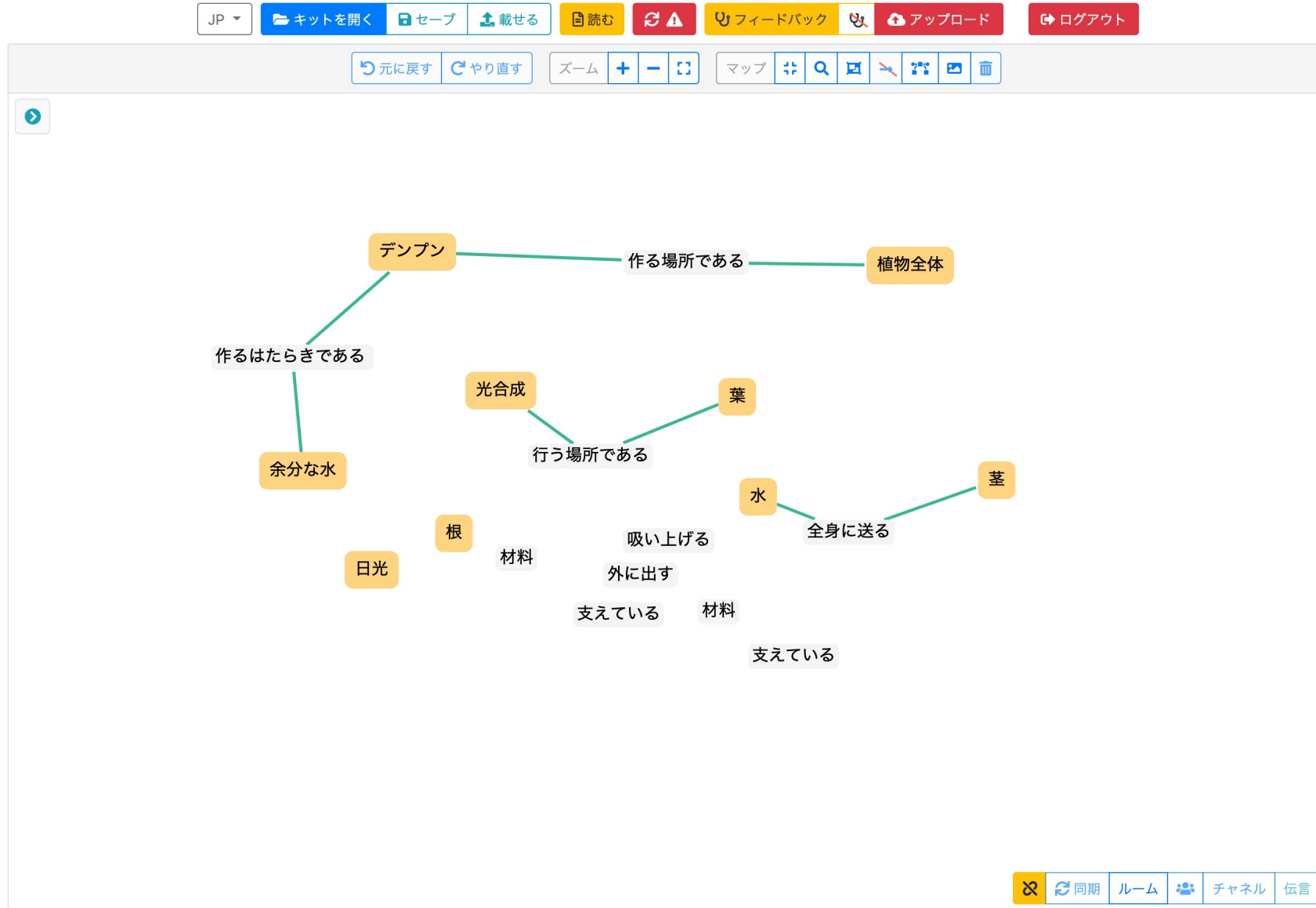
- 3 マップがクリアされればログアウト成功です



- # 再ログインする場合は、「ゲストログイン」を押してください



# 学習者用システムのグループ議論の方法



# はじめに

---



基本の表示



カーソルを重ねた場合

共同編集機能に接続できているかどうかをご確認ください  
もし問題なく接続できていれば、  
上記のように一番左のアイコンが緑色になっております

# ルームの作成

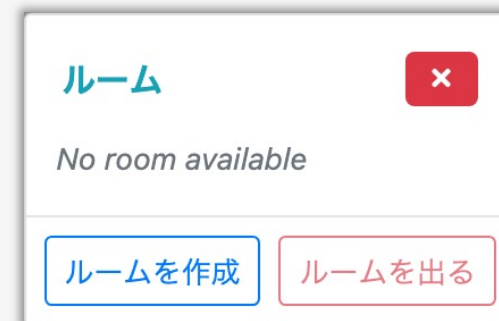


共同学習を行うために、  
グループの集まる部屋を  
作成します

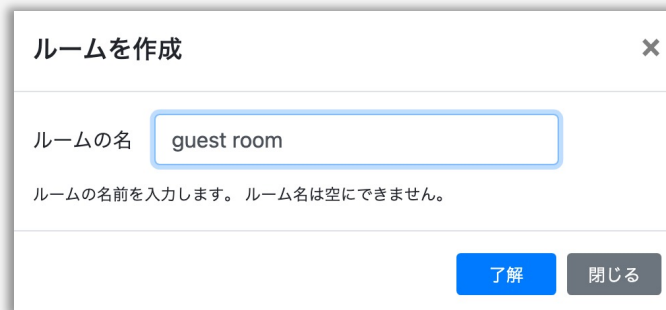
- 1 右下のアイコンの、「ルーム」を押します



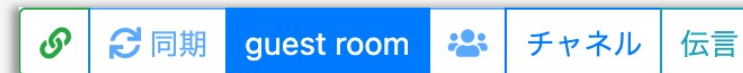
- 2 表示されるダイアログから、「ルームを作成」を選びます



- 3 ルーム名を入力し、「了解」を押します



- 4 ルームが作成されると、「ルーム」が作成したルーム名に切り替わります



# ルームへの参加

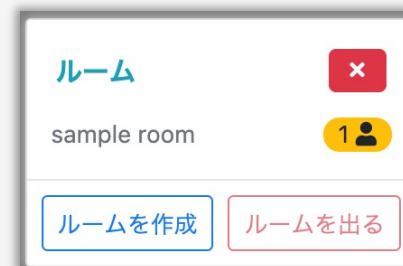


既に作成されているルームに参加する方法です

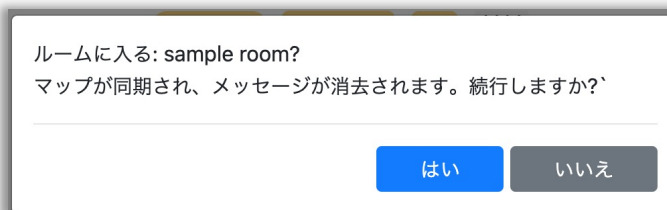
- 1 右下のアイコンの「ルーム」を押します



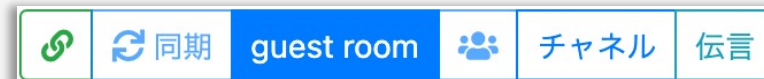
- 2 ポップアップされたダイアログからルームを選択します



- 3 選択したルームに入る場合は、「はい」を押します



- 4 ルームに入れば、「ルーム」が入室したルーム名になります



# グループでの議論



グループ全体でマップによらない議論をするときの方法です  
マップにフォーカスしない話をする際に利用します

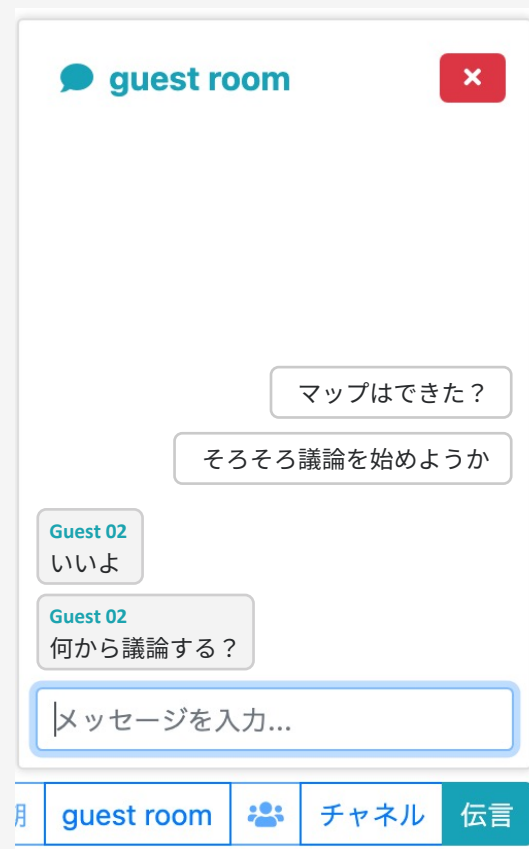
- 1 右下のアイコンの「伝言」を押します



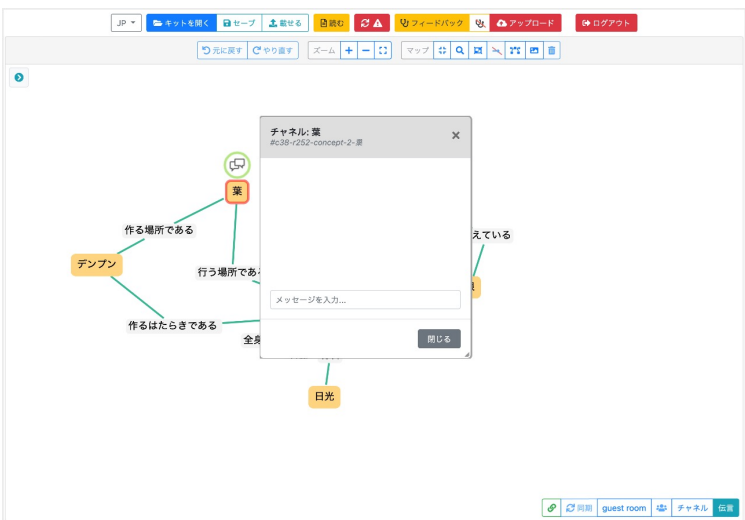
- 3 議論を終えるときは、もう一度「伝言」を押します



- 2 表示されたダイアログでメッセージを入力すると、全体で共有されます

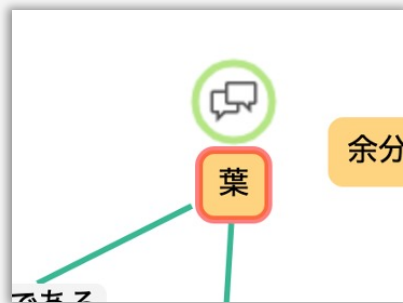


# マップの概念の議論



グループで議論するとき、  
概念ごと、関係性ごとにチャットで議論できます  
オンラインでの議論に向いています

- 1 議論したい概念を押し、出てきた吹き出しを押しします



- 3 議論を中断/終了するときには閉じるを押しします、

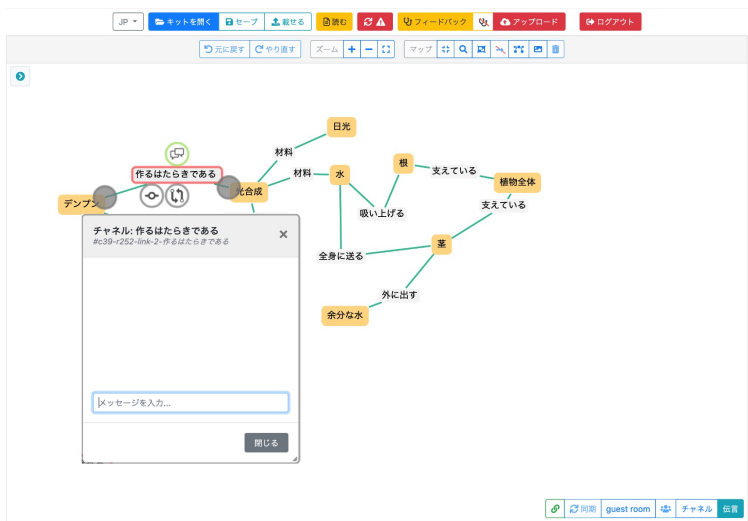


- 2 議論用のチャットウィンドウが開くので、伝言と同様に議論できます



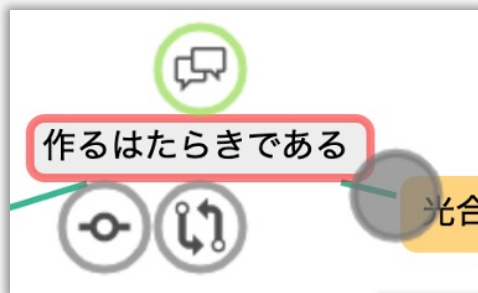
チャット用のウィンドウはドラッグで動かせます

# マップの関係性の議論



グループで議論するとき、  
概念ごと、関係性ごとにチャットで議論できます  
オンラインでの議論に向いています

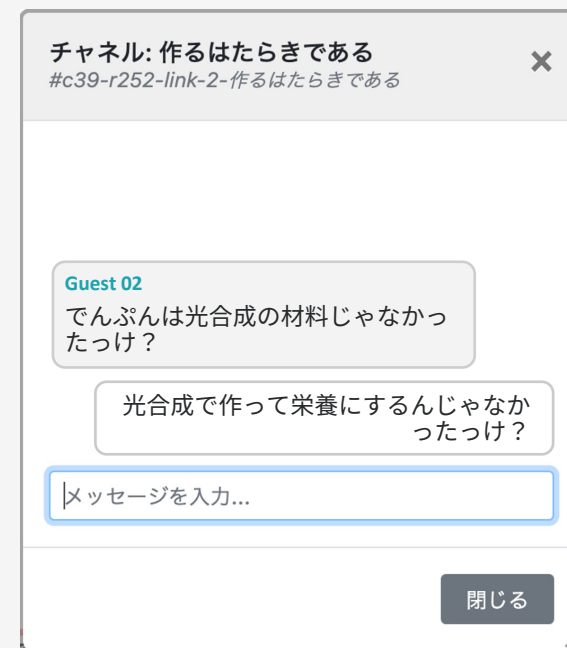
- 1 議論したい関係性を押し、出てきた吹き出しを押しします



- 3 議論を中断/終了するときには閉じるを押しします、



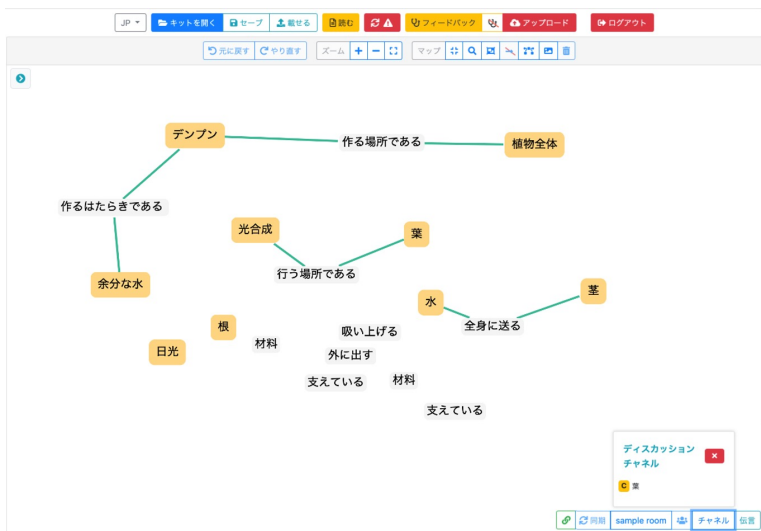
- 2 議論用のチャットウィンドウが開くので、概念と同様に議論できます



チャット用のウィンドウはドラッグで動かせます

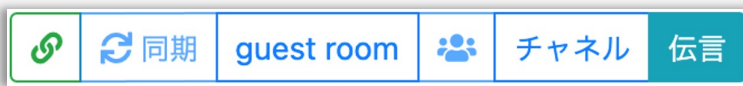


# 前の議論を続ける

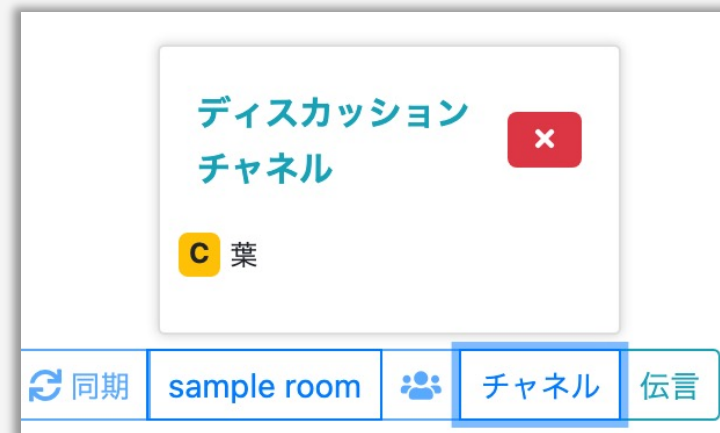


過去に実施した議論は、  
チャンネル欄から再開することができます  
並列して議論することも可能です

- 1 右下のアイコンの「チャンネル」を押します



- 2 過去に議論した概念や関係性が表示されるので、再開したいものを押します

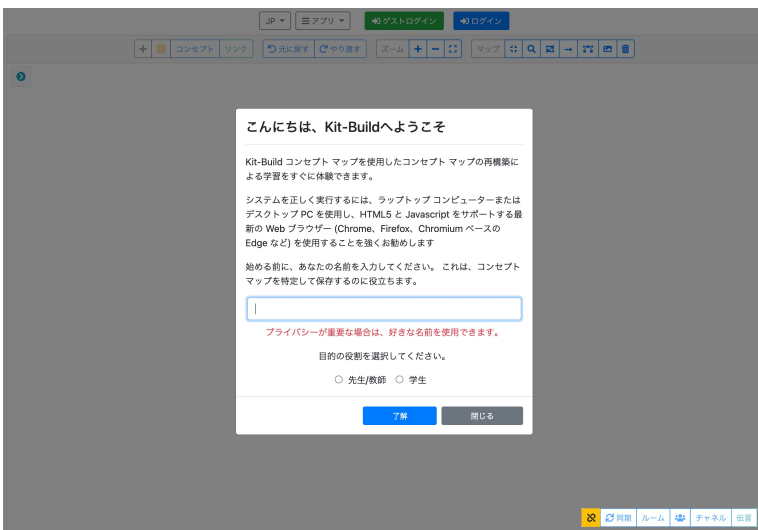


- 3 過去の議論が開きます





# ログイン



教師用のKBシステムへ  
ログインする方法を  
解説しています。

- 1 言語設定後に提示されるメニューに、  
適当な名前を入力する

始める前に、あなたの名前を入力してください。これは、コンセプトマップを特定して保存するのに役立ちます。

プライバシーが重要な場合は、好きな名前を使用できます。

- 2 「先生/教師」の役割を  
選択後、「了解」を押す

目的の役割を選択してください。

先生/教師  学生

了解

閉じる

- 3 ログインの挨拶が表示  
されればログイン成功です

こんにちは, **guest\_teacher!**

Kit-Buildのコンセプトマップの作成または分析を始めましょう。

了解

- # 再ログインする場合は、  
「ゲストログイン」を  
押してください

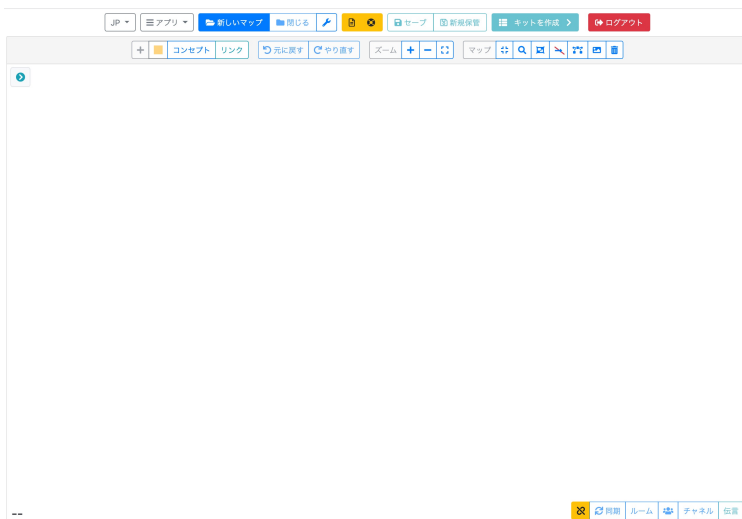
➡ ゲストログイン

やり直す

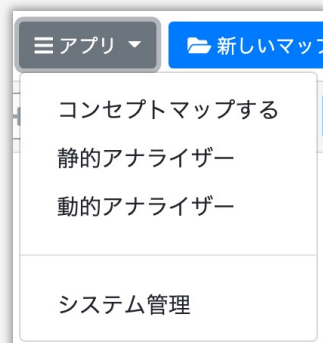
ズーム

+

# アナライザへの移動



- 1 画面上部にある三本線から、「静的アナライザ」を選ぶ

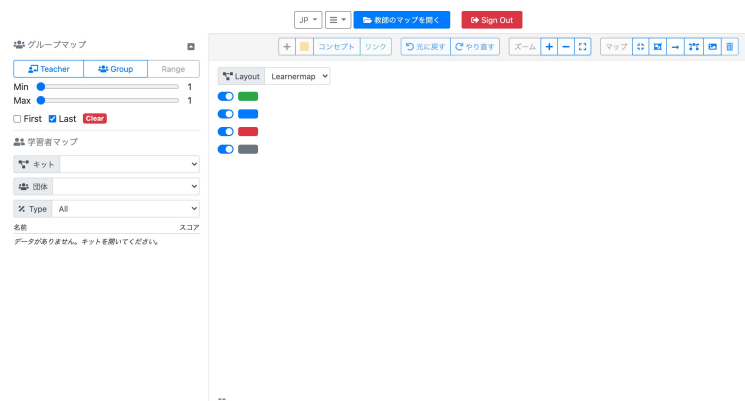


- 2 以下のようなアナライザの画面に移動します

教師用の分析システムに  
移動する方法を紹介します



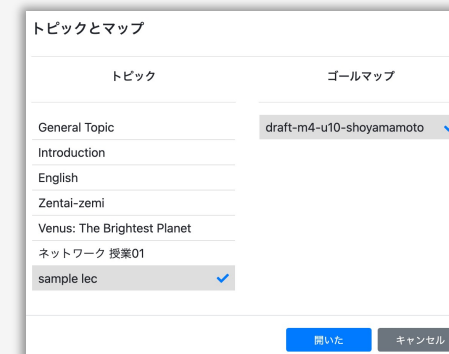
# 授業結果の確認



- 1 画面上部にある「教師のマップを開く」を押す

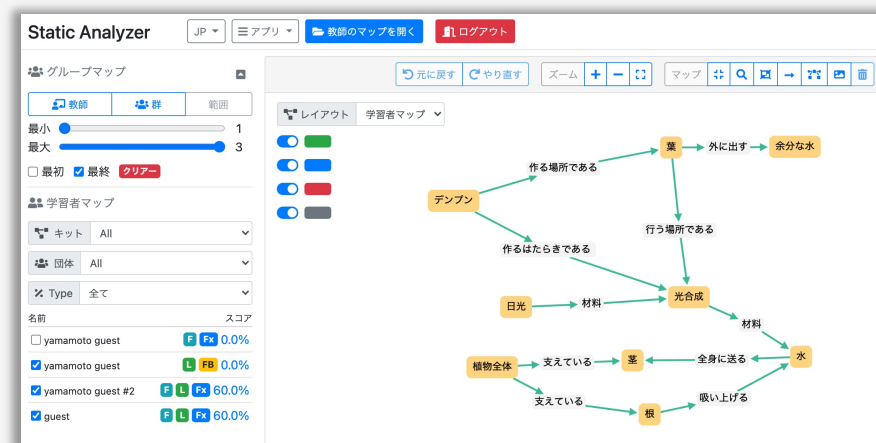


- 2 トピックとマップを選択し、「開いた」を押す



- 3 マップが表示され、左下に学習者が一覧が確認できれば成功です

学習者の構築したマップの重ね合わせを実行する方法です



光合成のトピックとゴールマップは、

トピック  
**sample lec**

ゴールマップ  
**draft-m4-u10-shoyamamoto**

となりますので  
ご注意ください

# 差分マップの閲覧

左の枠で学習用のキットを選択することで、  
下記のような、教師と学習者のマップを重ね合わせた結果が表示されます

分析したい  
キットの選択

回答した学習者と  
マップの一致度の  
一覧

Static Analyzer JP アプリ 教師のマップを開く ログアウト

グループマップ 教師 群 範囲

最小 1 最大 3

最初  最終 クリアー

学習者マップ

キット 27 - 光合成の仕組み

団体 All

Type 全て

名前	スコア
<input type="checkbox"/> yamamoto guest	F Fx 0.0%
<input checked="" type="checkbox"/> yamamoto guest	L FB 0.0%
<input checked="" type="checkbox"/> yamamoto guest #2	F L Fx 60.0%
<input checked="" type="checkbox"/> guest	F L Fx 60.0%

各差分と  
該当する学習者の数

# 差分マップの閲覧

各種差分はスイッチによって切り替えたり、該当する人数にフィルターをかけたりすることができます

差分の各種類（次ページで紹介）と表示のON/OFF

該当学習者の  
フィルタリング

(Min)名から(Max)名が  
該当する差分のみ  
提示します

The screenshot shows the 'Static Analyzer' interface. On the left, there is a filter panel for 'グループマップ' (Group Map) and '学習者マップ' (Learner Map). The 'グループマップ' section has tabs for '教師' (Teacher) and '群' (Group), with a range filter set from '最小 1' (Minimum 1) to '最大 3' (Maximum 3). The '学習者マップ' section shows a kit '27 - 光合成の仕組み' (27 - Mechanism of Photosynthesis) and a list of learners with checkboxes and scores.

The main area displays a network diagram with nodes and edges. Nodes include 'デンプン' (Starch), '葉' (Leaf), '外に出す' (Export), '余分な水' (Excess water), '日光' (Sunlight), '材料' (Material), '光合成' (Photosynthesis), '植物全体' (Whole plant), '茎' (Stem), '水' (Water), and '根' (Root). Edges are labeled with actions like '作る場所である' (is a place to make), '行う場所である' (is a place to do), '支えている' (supports), '吸い上げる' (sucks up), and '全身に送る' (sends to the whole body). A legend on the right lists these actions with their counts.

Action	Count
支えている (2)	2
吸い上げる (1)	1
材料 (3)	3
行う場所である (1)	1
外に出す (1)	1
全身に送る (1)	1
作るはたらきである (1)	1
作る場所である (1)	1

